

# 民間で国内最大規模

## 豊橋ハートセンター増築完成

橋ハートセンター増築工事がこのほど完成。民間では国内最大規模で、機能、設備も全国一という心疾患専門病院の誕生となった。

同センターは平成十一年五月、前国立豊橋東病院副院長だった鈴木氏が開院した。当初、十九床でスタートしたが、その後増床し、医療法人に昇格。患者は地域だけでなく全国各地から訪れ、内外に誇る優れた施設として着実な実績を築いている。

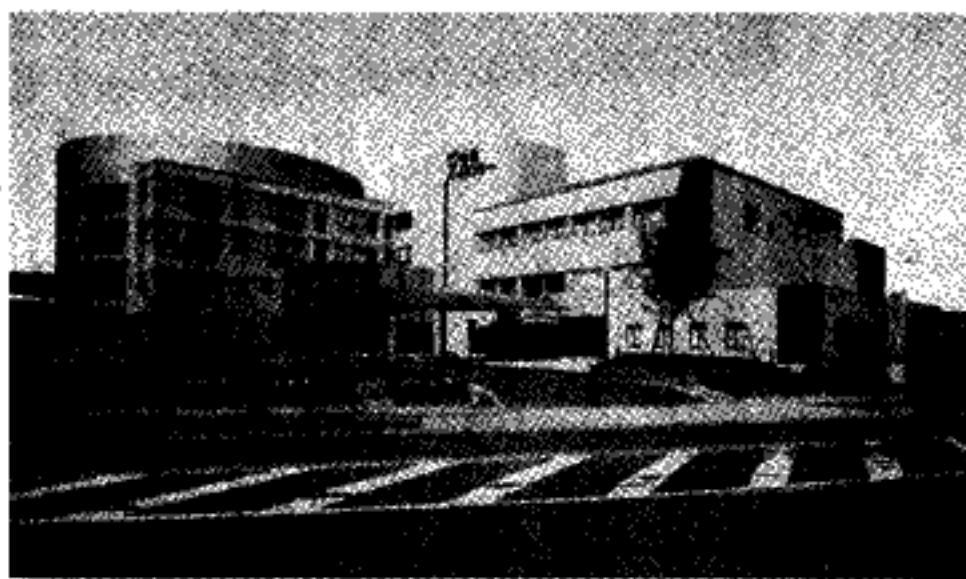
医療法人・澄心会(豊橋市大山町五分取、鈴木孝彦理事長)が、今年春から取り掛かっていた豊

新しい建物は、既設病院の西隣に完成した。鉄骨造四階建て、延べ約四千六百六十平方メートル。既設病院の約二倍の規模で、新旧を一体化。工費は約

九億円。一階は院長室、事務長室など管理部門を主に、必要テーマを得るR Iや、新規導入の最新冠動脈撮影装置MRIを備えた検査室、手術実況を内外で映像相互送信するミニライブが可能な多目的ホールなど。

二階は心臓カテーテル室(二)、ベッド十六台の安静室、マッサージ機や畳を備えたリラクゼーション室や、図書室、会議室もある医局など病棟部門。三、四階は病床で計五十四床。全室、太陽

光が採光できる設計。また、三階には八床を備えたCCU(冠動脈集中治療室)があり、三、四階のナースステーションは直結階段で機能的にした。四階の特別室(六室)



は、個室四床分のスペースを確保している。

病床は既設と合わせ総計六十八床。カテーテル待合室も、これまでの約六倍のスペースでゆったりできる。治療方針を検討するためのプラスマジションも四二彩を五台完備したほか、手術実況を衛星放送を使わず国内外にライブ発信できる、光ファイバー装備を設置。また、深夜の急患家族が仮眠する家族室や、玄関横にラウンジ喫茶、売店(テナント)も設けられている。

(星野のりこ)

国内最大規模で誕生した豊橋ハートセンターは市内大山町で